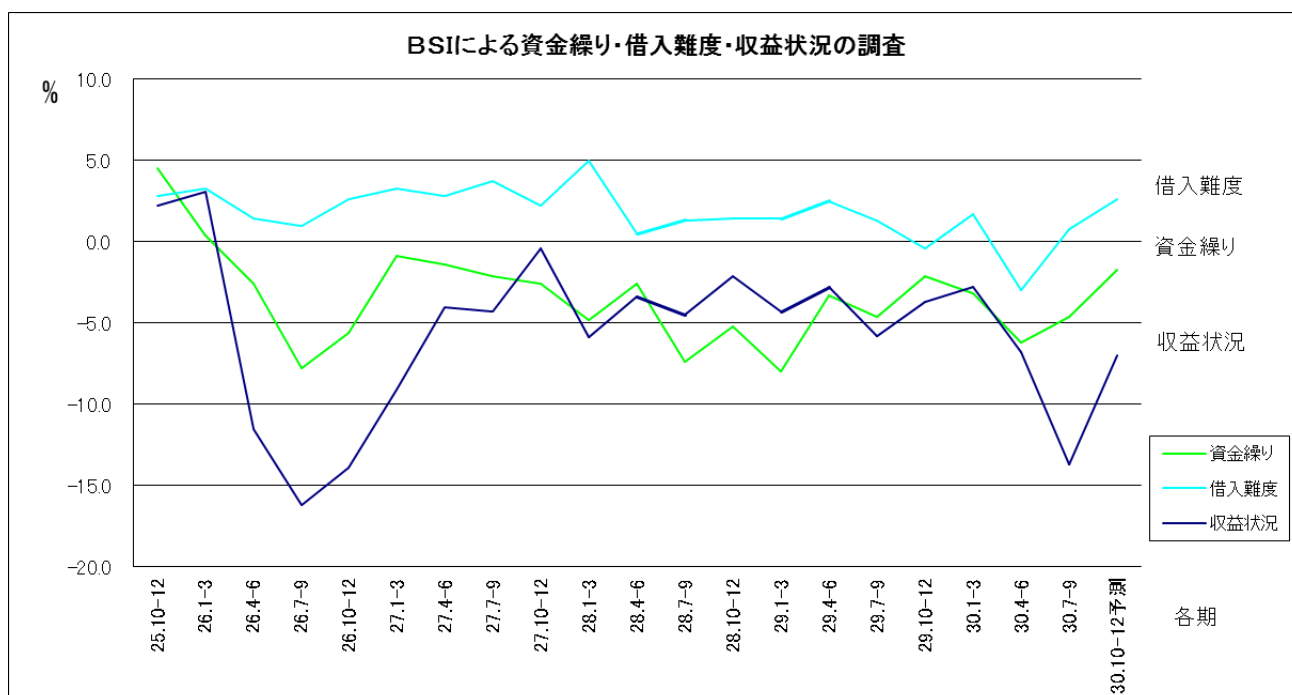
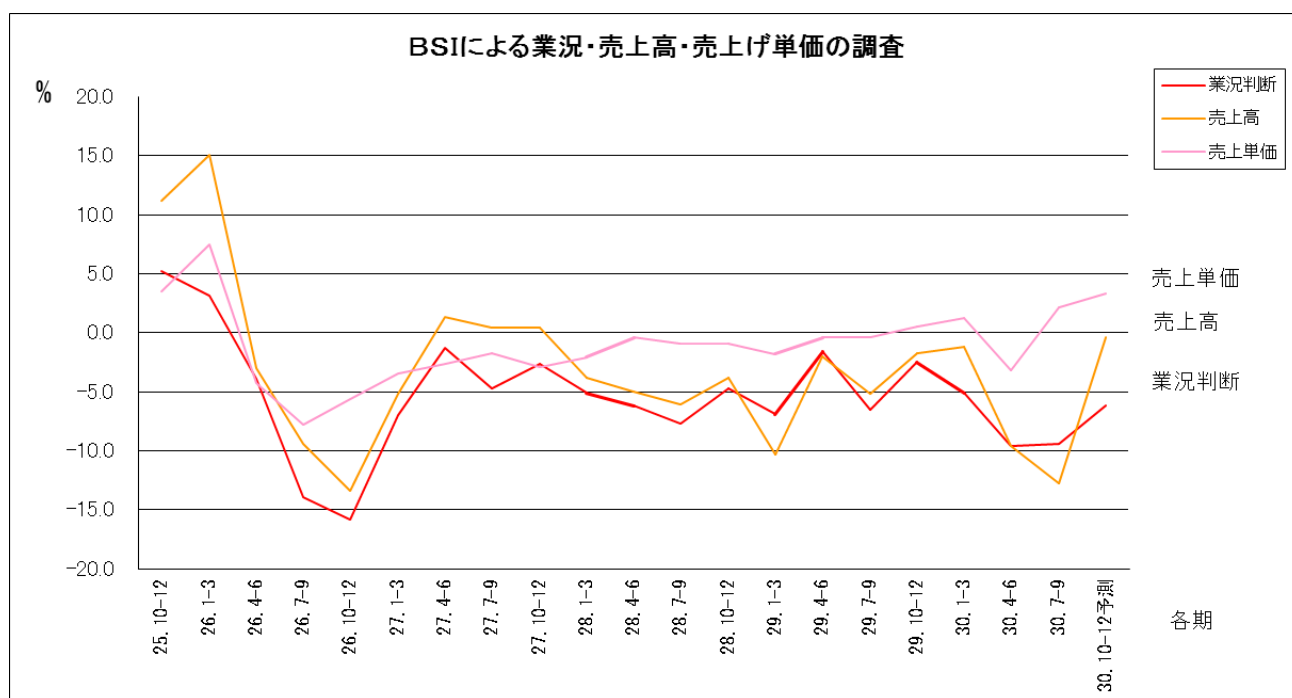


今期の業況判断は「0.2ポイント」上昇。

来期は全ての項目で上昇予測。

中小企業景況調査 30年7-9月期(30年10-12月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



* BSI = (上昇・増加 - 減少・下降) × 1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」= 100)

経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

30年7-9月期は、「売上高」「収益状況」が下降、「業況判断」「売上単価」「借入難度」「資金繰り」が上昇しております。

来期は全ての項目で上昇が予測されています。

各業種の業況については、

製造業が2期(30年4-9月期)連続で上昇しており、来期(30年10-12月期)も上昇が予測されています。

また、全業種業況判断でも「3.2ポイント」の上昇が予想されています。

その反面、建設業は2期連続で大きく下降しております。来期も同程度の下降が予測されています。

■直面している経営上の問題点

1位:人手不足(13.83%)

2位:売上・受注の減少(13.54%)

3位:競争激化(12.68%)

4位:原材料・仕入れ価格上昇(10.95%)

5位:経費の増加(10.66%)

※ 1位から4位は、2期連続して同じ順位。

■各社からのその他の問題点

- ・地域に対する需要と供給のバランスの悪さが問題です(サービス業)。
- ・今期は売上も堅調に推移していたが、自然災害が多発しているため、予測できない状況となった(サービス業)。
- ・人手不足と労務問題に苦慮する(サービス業)。
- ・働き方改革関連により、以前のような勤務形態がとれなくなった。(警備業)
- ・鳥取西道路等のインフラ整備も終息を迎えており、今後の発注状況により、経営に大きな影響を及ぼすものと思慮。(総合建設業)
- ・地方の中小企業にとって益々厳しい市況が続いている。大企業と同じ規制を適用され後ろ向き経費が増加して収益性が悪化している。(家具製造業)
- ・若手従業員の離職率が高い(ホテル業)
- ・賃上げや給与制度(評価制度導入)しても、今のところモチベーション向上に繋がっていない(ホテル業)